

こんにちは。JICA シニアボランティアの小澤道子です。

アルゼンチンに来て3週間が過ぎ、こちらの生活にも少し慣れてきました。今回は、日々の生活で気づいたこと、あえて、ネガティブな面に絞って、お話したいと思います。

街並み

前回お話した通り、ブエノスアイレスの街並みは古くてとてもステキです。でも、そのステキな建物を見上げ歩くのはちょっと危険。歩道のあちこちに段差があったり、穴ぼこがあったりで、しっかり下を見て歩かないとつまずいてしまいます。また、道路にはごみが散乱し、犬の糞もあちこちに放置されたままです。私たちきれい好きの日本人にはとても残念な一面です。



物価

物価も信じがたいほど上がっています。去年30ペソだったコーヒーが今は50ペソ。つまり、去年210円だったコーヒーが今年は350円です。私たちJICA隊員の財布の紐もついつい固くなりがちです。でもどうやらアルゼンチンの人々には、それほど大変ではないようです。アルゼンチンの国内食糧自給率はほぼ100%で、それなりに食べ物が回ってくるようです。

食べ物

アルゼンチンの人に「代表的なアルゼンチンの食べ物は？」と聞くと「肉、ワイン、肉、ワイン……」と答えてくれました。確かに肉とワインは日本に比べてとても安くて、おいしいです。でも、もう一つ忘れてはならないのはエンパナーダというアルゼンチンの庶民的な食べ物です。お昼時になると、あちこちでエンパナーダをほおぼる人々を目にします。ちょうど武蔵村山のお焼きのような存在かもしれません。そうそう、ハムとチーズだけのサンドイッチも「あれ？これアルゼンチン料理だった？」と思うほど朝食の定番です。

注記：

アルゼンチンの肉料理というとアサード(アルゼンチン風バーベキュー)ですが、残念ながらまだ本格的なアサードパーティには呼ばれていません。近いうちにアサードパーティの醍醐味をお伝えできると信じています。



この肉は 73 ペソです。
1 ペソ約 70 円。500 円未満



エンパナーダ

交通

ブエノスアイレスでは、バスがとても元気で庶民の重要な交通手段です。でも、SUBTE と呼ばれる地下鉄もあります。日本が地下鉄を導入するときのモデルにもなったそうですが、今では日本の地下鉄車両が払い下げられて、アルゼンチンの地下鉄を走っています。車内には外し忘れたのか、意図的なのか、ところどころに日本語の表示を見つけることができます。

電車にのっているとよく物売りに出合います。ペンやチョコレートなどを勝手に膝の上に置いていきます。買いたい人はそれを手にしますが、買いたくない人はひたすら無視して、体を固くしながらそのままにしておくと、やがて勝手に回収しにやって来ます。アジアのどこかでも見たことのある光景ですね。

所変われば品代わる、でも住めば都です。よくも悪くも、そんなブエノス アイレスがだんだん好きになってきた今日この頃です。